

熱く語れ 大きく動け

さがはま
人がふれあう 境浜魂



境づくり計画

平成26年11月

境地区公民館

初 版

境づくり計画

もくじ

1	境づくり計画	1P
2	境地区の概要	2P
3	行動計画説明	7P
4	行動計画	8P
5	推進体制	14P
6	計画の使い方	15P

○参考資料

<資料1>

(1)	境づくり計画策定委員会規程	16P
(2)	境づくり計画策定委員会名簿	17P
(3)	策定経過	18P
(4)	境づくりの様子	19P
(5)	アンケートの実施と結果	20P

<資料2>

(1)	境地区の主な行事	30P
(2)	境地区の掲載記事	32P
(3)	境地区の棒踊り	34P
(4)	境地区の昔の写真	35P

あとがき	36P
------	-----

1 境づくり計画

平成 26 年 11 月に、これから境地区のありたい姿について協議を重ねた行動計画「境づくり計画」が計画書として冊子になりました。

この計画の策定は、境地区住民により構成された計画策定委員会が垂水市と協力し、境地区の地域振興計画（※1）として策定しました。

計画策定委員会では、境地区の将来の姿について、意見交換や地区の全世帯に実施したアンケート結果などを活用しながら協議を重ねてきました。

境づくり計画には、地区に願う「こうありたい」という姿に近づくため、平成 26 年度から平成 35 年度までの 10 年間、「だれが」、「いつ」、「何をする」という形を行動計画としてまとめています。

「**熱く語れ 大きく動け 人がふれあう 境浜魂**」。この言葉は計画の柱として、住民が熱い思いを持って話し合い、大胆な行動力で境を盛り上げていくという気持ちを表現しています。

これから境地区と行政が力を合わせ、計画を実行していきます。

※1 「地域振興計画」

第4次垂水市総合計画の基本構想に基づき、地域住民の手による、地域の特性を生かしたまちづくりとして、市内9校区において計画策定を進めています。



▲二月祭り

2 境地区の概要

(1) 沿革

明治 11 年	川下に境簡易科小学を創設
明治 22 年	市町村制に基づき垂水村、牛根村、新城村が発足
明治 39 年	旧下宮神社跡(現在地)に学校を移転
大正 3 年	桜島の大爆発
昭和 30 年	牛根村、旧垂水町、新城村を廃止し、新たに垂水町となる
昭和 33 年	垂水市制施行
昭和 47 年	境小学校校舎改築工事完工
昭和 55 年	境地区公民館完成
平成 6 年	牛根境鉄道記念公園完成、光村記念館完成
平成 22 年	牛根中学校閉校



▲境地区遠景

(2) 概要

1 地区の歴史

東に始良カルデラからなる山地を背にし、西に錦江湾を臨む山と海に囲まれた地に境地区は位置しています。

境という地名の由来は、曾於郡と大隅郡の境にあるので境になったと言われています。語源は(サッカイ)という砂瀉を意味していて、これには海岸の静かなところという意味があるとされています。

境は旧藩時代に曾於郡福山村境となっていたこともありましたが、牛根二川地区との地理的な近さもあり、親族の往来や結婚等も多かったため、明治初年に牛根村境となりました。

昔から漁業が盛んで、八田網や地引網で漁獲した魚は、ほとんどがカツオのエサ（カタクチイワシ）や、加工（にぼし、塩漬け）、鮮魚で、鹿児島や加治木、浜之市、市成、恒吉、百引等に売りに行っていました。

牛根村の中で魚獲りはほとんど境の人が行っていて、俗謡の囃子に「牛根境ケン浜に メッカが見えた それを取ろちゅちゃ 境うちや うそどだ。上からまわそか 下からまわそか」と漁夫が囃していたと言われています。

境の土地は海が近いですが、湿気は少なく乾燥しているので、古代から先住民が生活していたということを、老神神社前から出土した弥生式土器が物語っています。

古代は下宮神社の下まで入江になっていて、小舟の碇泊としては最適で、福山の宮之浦を出帆された神武天皇がこの地に停泊し、この港から瀬戸海峡に向けて出帆されたという伝説も伝えられています。

近代では、漁業を中心としながらも、半農半漁で自給のために畑作も行っていて、商店街は映画館などもあり活気にあふれていて、とても栄えた地区でした。



▲親鸞聖人 700 回大遠忌法要の行列（昭和 39 年）

2 地区の現在

現在の境地区は、市内中央から北東に約 21 km の霧島市福山町と隣接し、国道 220 号線が地区内を縦断しています。

近年は少子高齢化が進み、平成 22 年度からは中学校が垂水中央中学校に統合され、境小学校も児童数が減少している状況です。平成 26 年 9 月末現在で

人口は744人（男性331人、女性413人）世帯数は393世帯です。

境地区は、現在でも漁業関係者が大半を占める漁業のまちで、ブリ、カンパチ、ハマチの養殖が盛んで、ビワの栽培も行っています。また、小学校の先生の歓迎会では、甘く煮たブリの頭をかじらせる風習が今も続いています。

昔から美味しい水が湧き、全国に名高い「森伊蔵」の焼酎工場や建設会社、修理工場等があり、比較的人口密度が高く国道沿いには商店街が形成されています。また、距離的に霧島市に近いため、最近では同市内の工場や商店に勤める人が増えてきています。

平成6年には旧国鉄大隅線の大隅境駅跡地を市が整備し、地区住民が「憩いの場をつくりたい」との思いで桜を植樹し、牛根境鉄道記念公園が完成しました。現在では、春になれば満開の桜が咲き誇り、夜には提灯でのライトアップが行われ、市内屈指の花見スポットになっています。



▲牛根境鉄道記念公園の花見会

地区の主な行事としては、夏休みに行っている「親子球技大会」、秋の「敬老祝賀会」、小学校との「合同運動会」、そして「十五夜綱引きすもう大会」、「グラウンドゴルフ大会」、冬には「しめ縄作り」、「ふれあいもちつき大会」、「二月祭り」など多くの行事を校区民は学校と協力して行っています。

その中でも、二月祭りの伝統行事として古くから伝わる「棒踊り」は特に有名です。棒踊りは三尺・鎌・六尺という道具を持ち、6人が一組で勇壮に踊ります。前後2人は入れ替わりながら大きく切り合い、三尺と六尺は鎌の頭上で切り合い、トンボ（跳ねる動き）をしながら踊ります。

この棒踊りの由来としては、古老からの言い伝えで、百年以上前に輝北（百引）あたりから伝わってきたのではないかとされています。

はじめは豊臣秀吉の時代、朝鮮征伐の出陣を鼓舞するため、あるいは百

姓一揆の隠れ武術を練習するための踊りであるとされています。

古くから守り神として信仰されている老神神社に、地区民の一年間の五穀豊穡と家内安全を祈願する奉納踊りとして、現在まで伝わっています。

踊りは旧暦初春初申の日と定められ、この日が新暦の二月頃にあたることから、別名「二月祭り」と呼ばれ親しまれています。

昔は、各家庭で縁起物としてそばを作り、棒踊りを庭先で披露されると、ご祝儀を用意してその労をねぎらい、本業のカタクチイワシ漁も大漁でにぎわい、祭りを祝ったそうです。現在でも踊りのお礼にご祝儀を差し上げるしきたりが残っています。

現在は境小学校の児童やPTAに加え、地域の方々やきばろう会が加わり、二班に分かれて校区を回っています。

棒踊りをとおして子ども、地域、学校との信頼関係が構築され、子どもたちも地域の方々から顔を覚えてもらい、気軽にあいさつを交わしています。

これからも棒踊りを境の絆を深めるための活動と位置付け、継承していきます。

【参考資料】

『垂水市史（上巻）』

『市勢要覧 2008』

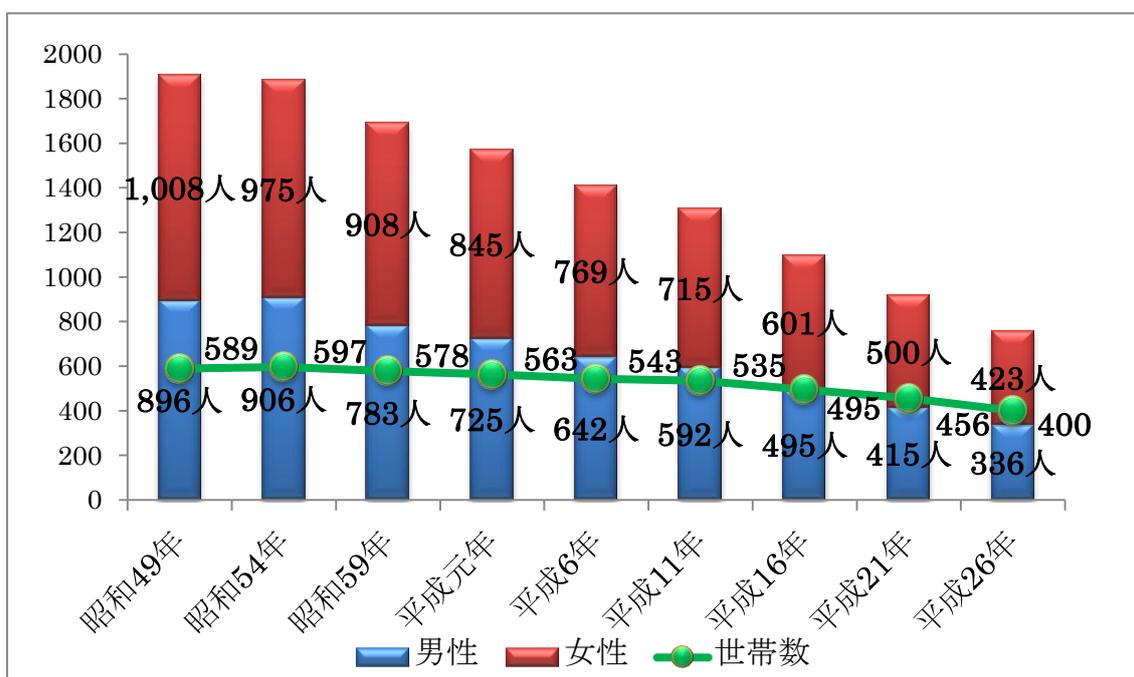
『平成 26 年度教育行政要覧』

『境小学校学校要覧』



▲二月祭り棒踊り

(3) 境地区の人口推移



資料：住民基本台帳



▲グラウンドゴルフ大会

3 行動計画説明

境づくりとして、これから実行していく項目を行動計画という形で次のページから掲載しています。

10年間の計画になりますので、ときには計画の修正や変更を行い、進捗状況を確認しながら計画を実行していきます。

行動計画は、「分類」、「こうありたい」、「だれが」、「いつ、何をする」、「市役所関係課長等の見解」として整理し、その内容は次のようになっています。

分類…各項目を「住環境」、「人とのつながり」、「地域資源」に関することとして大きく分類しています。

「こうありたい」…行動計画を実行することにより目指していく将来の姿を表現しています。

だれが…行動計画を実施する主体や関係組織です。また、協力を行う行政機関について記載しています。

いつ、何をする…行動する内容です。取り組む時期の目安として、前期（1～3年）、中期（4～6年）、後期（7～10年）があり、囲いの長さで期間を表しています。また、市関係課の協力部分を記載しています。

市役所関係課長等の見解…市関係課の各行動に対する見解や助言です。

4 行動計画

	こうありたい	だれが		いつ、何をする			市役所関係課長の見解	
		地域・団体名・市・県・国		前期(1~3年目)	中期(4~6年目)	後期(7~10年目)		
住環境	住みやすい、残りたいと思える境をつくりたい	 <p style="text-align: center;">▲鉄道公園の桜</p>		境地区公民館(境体育協会)・境小学校		○境地区全体でラジオ体操等の健康運動を実施する。	<p>※1 振興会単位などで申し込んでいただければ、ゴミ分別の方法等の出前講座を開催します。</p> <p>※2 地区の皆様が知っている空き家情報を収集し、企画課と連携する体制を構築することで、より多くの空き家の有効活用が図れると考えています。</p> <p>※3 境小学校敷地は土砂災害警戒区域内にあることから、境小学校を自主避難所として新たに指定することはできません。牛根地区公民館等への搬送体制を強化して、現状の第1次避難所としての体制を維持します。また、体育館から校舎3階への変更については、高齢者への配慮、洋式トイレが1階にしかないことから、従来どおり体育館を含めた既存の避難所で状況に応じて対応します。</p> <p>※4 砂防ダムの土砂については、急こう配だった河川を砂防ダムに土砂を溜めることにより緩いこう配にし、土砂の下流域への流出を防止するものになっています。</p> <p>※5 海岸の護岸等は鹿児島県の管理ですが、数年前から要望していますが、予算の関係で厳しいようです。引き続き、大隅地域振興局へ補修の要望をします。</p> <p>※6 野生鳥獣の個体数減少を図るための有害鳥獣捕獲対策事業補助等を実施します。また、耕作地等への侵入防止対策のためワイヤーメッシュ柵や電気柵等設置の補助事業を実施していきます。</p>	
				境地区公民館(境体育協会)		○鉄道公園で開かれる軽スポーツの参加者を増やす。		
				境地区公民館(福祉厚生部・各振興会)		○ゴミ分別を教え合う体制をつくる。		
						○ゴミの分別や猫の飼い主のマナーを向上させる。		
				境地区公民館(各振興会・地区住民)		○空き家を活用し、カフェやレストランなどを開設する。		
				境地区公民館(地区住民)		○空き地や鉄道公園にバリアフリーのトイレをつくるなどのを整備をし、景色のきれいな境をつくる。		
						○国道等に鉄道公園への案内板を設置する。		
				境地区公民館(各振興会)・民生委員		○災害時の避難計画を、老人の対応を考えて再確認する。		
				境地区公民館(垂水市交通安全協会境部会)		○危険箇所に信号機等を設置するよう要望する。		
						○国道付近に幟を設置し、交通安全の意識高揚を図る。		
	境地区公民館		○買物弱者の対策を行う。					
			○病院等に行くため、車を乗り合わせる仕組みをつくる。					
	 <p style="text-align: center;">▲敬老祝賀会</p>		市	生活環境課	○ゴミの分別マナー向上のため、出前講座等を開催し協力する。 ※1			
				企画課	○空き家バンク制度を地域と連携して推進する。※2			
総務課				○災害時の搬送体制の強化を行う。※3				
土木課				○境川上流から堆積した土砂の除去を検討する。※4				
				○県に護岸の階段を改修するよう要望を続けていく。※5				
農林課	○農作物の鳥獣害対策のため補助事業を実施する。※6							

人とのつながり にぎやかなふれあいの場をつくりたい	 <p>▲七夕飾りづくり</p>	境地区公民館(各振興会・地区住民・いきいきサロン元気会・新しい推進組織)・境老人クラブ・境小学校・陽なたぼっこの家	<input type="checkbox"/> 高齢者と子どものふれあいの場をつくる。 ・小物づくり教室 ・勉強、書道、空手等の習い事教室 ・本の読み聴かせ ・映画の観賞会 ・魚の捌き方教室	※7 現在、境小学校校庭や鉄道跡地を利用して、競技をされていると思いますが、競技専用の場所の確保が大変困難な状況ではないかと思えます。 土地提供の情報等があれば今後検討したいと思います。
		境地区公民館(いきいきサロン元気会・地区住民・新しい推進組織)	<input type="checkbox"/> 食をとおしたふれあいの場を、月に一度参加しやすい形で開催する。	
		境地区公民館(各振興会・婦人部)・きぼう会	<input type="checkbox"/> 地元の食材を活用し、地区外の人たちとの交流の場をつくる。	
		境地区公民館	<input type="checkbox"/> 昔の写真を集め、写真展を開催する。	
	 <p>▲運動会</p>	境地区公民館(地区住民)	<input type="checkbox"/> 休憩して雑談できるよう、まちの各所に長椅子等を設置する。	
		境地区公民館(地区住民)	<input type="checkbox"/> ふれあいの場に参加しやすいよう声かけをする。	
	市 社会教育課	<input type="checkbox"/> グラウンドゴルフ専用の場所について、土地提供の情報等をいただきながら検討する。※7		

地域資源

魅力あふれる境を盛り上げたい



▲牛根っ子探検隊



▲ホルトノキ

校区全体	<ul style="list-style-type: none"> ○境の地域資源を活用したイベントを開催する。 <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道公園の桜並木を活用したイベント ・海や山の特産品を活用した料理を考案し、提供するイベント ・若者や子育て世代が参加できるイベント ・特産品を活かした青空市 ・境一周駅伝大会 ・沖小島までのカヤック競争 ・花やハーブなど、境で栽培したものを販売するフリーマーケット ・海釣り大会や貝掘りなどのイベント ・地曳網を活用したイベント ・全国から注目されるイベント 	
境地区公民館(地区住民)・牛根漁協	○砂浜に魚や貝類の住める環境をつくる。	
境地区公民館・牛根漁協	○アジ釣り等ができるような海岸部の環境をつくる。	
境地区公民館・牛根漁協	○境の海岸部を周る遊覧船を出す。	
境地区公民館(婦人部・地区住民)	○地元の食材を活用し、B-1グランプリへ参加する。	
境地区公民館・老神神社役員会	○棒踊りや六月灯を盛り上げ、子どもたちに継承する。	
境地区公民館(総務部)	○夏祭りでやぐらを組んで盆踊りを開催する。	
境歴史研究会(仮称)	○境の歴史をまとめた冊子や映像を制作する。	
境地区公民館(各振興会・地区住民)	○鉄道公園に四季の花々を植え、皆で管理する体制をつくり、花の名所にする。	
市	土木課	○境川への魚道設置について県と協議を行い検討する。※8
	社会教育課	○境の歴史本製作のため資料提供等の協力を行う。※9
	水産商工観光課 総務課	○地域資源の情報発信のため、取材を行い、広報誌等への掲載やPRを行う。※10
	社会教育課	○ホルトノキ等のPRのため情報発信を行う。※11
	水産商工観光課	○海・山道・トンネルを活用した遊歩道づくりを関係課と協議し、検討する。

※8 境川は市の管理する河川ですが、砂防指定地であることから、県と協議を行い、今後検討します。

※9 冊子作成のため、資料の提供等ご協力をさせていただきます。
また、資料の収集や現況の写真撮影に加え、現地調査も必要かと思えます。地域の方々主導による、学習会の開催等も検討されてはいかがでしょうか。

※10 地域資源の市報等でのPRを最大限協力します。掲載にあたっては、魅力的な企画や内容等、秘書広報係で対応しますのでご相談ください。

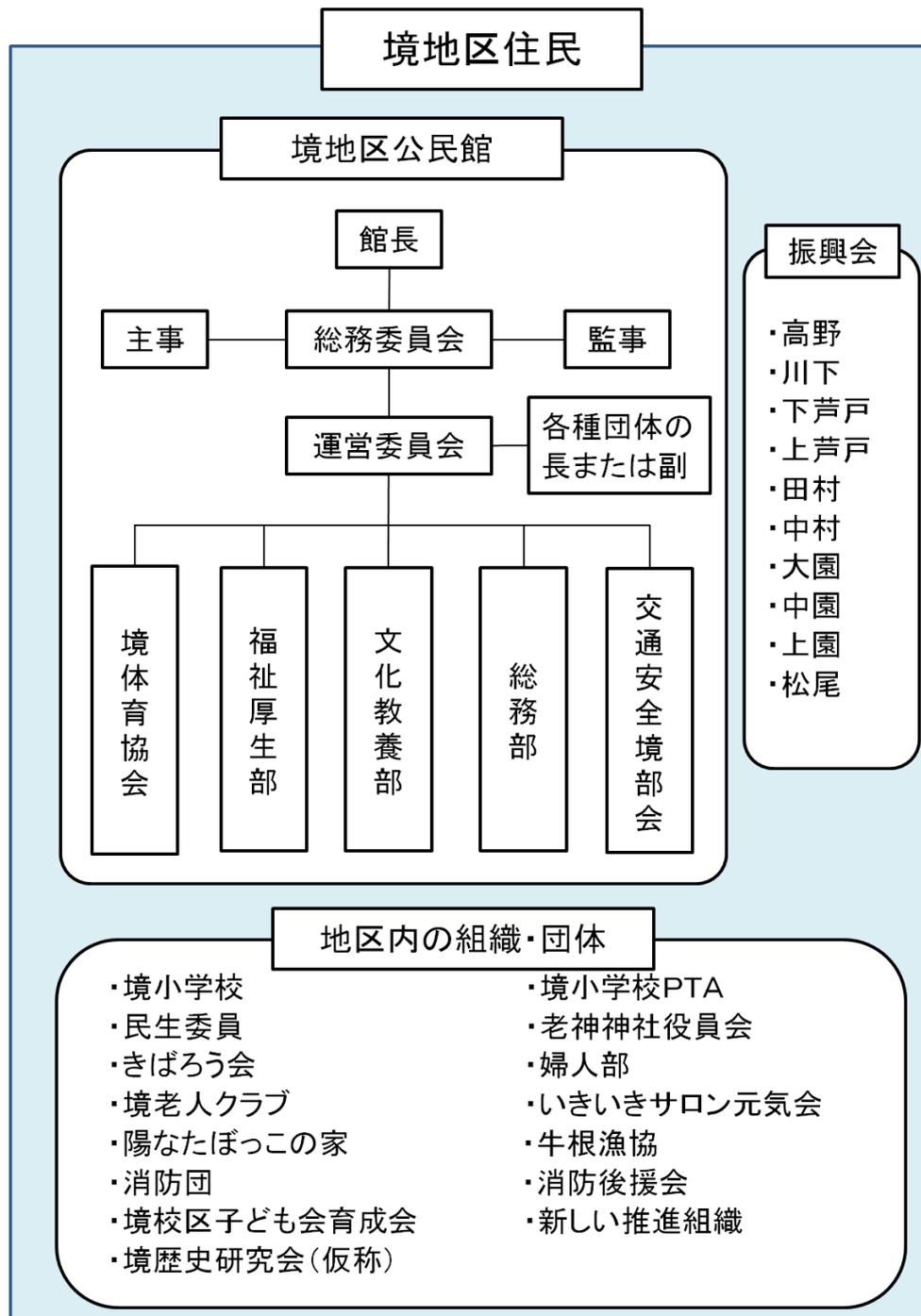
※11 市報「シリーズ文化財」のコーナーに掲載する等、PRを行います。

5 推進体制

行動計画を実行するにあたって、下の図は計画の推進に関する境地区の組織を挙げています。

行動計画の「だれが」の部分にはそれぞれ役割を担う団体名等が入っていますが、この計画は境地区にお住いのみなさま一人ひとりが主役です。

これから境地区一丸となって、境づくりに取り組んでいきましょう。



6 計画の使い方

(1) 境づくり計画の位置づけ

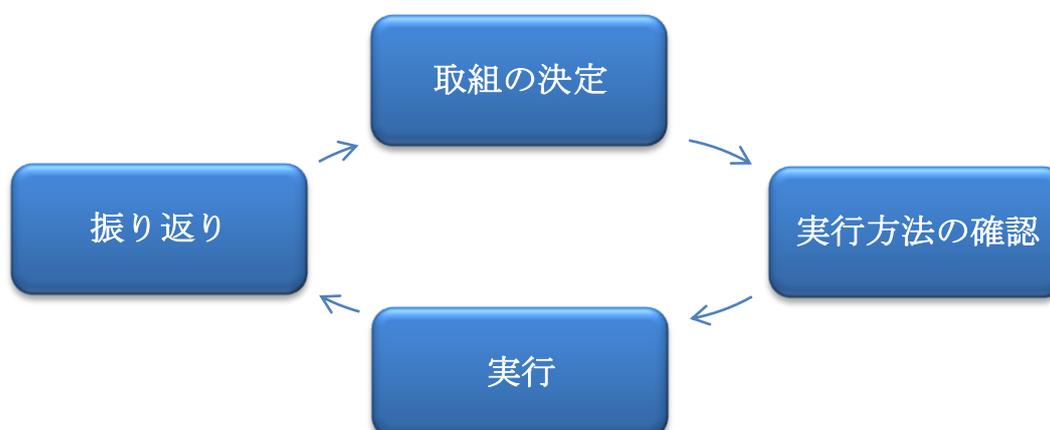
- 境づくり計画は、第4次垂水市総合計画に基づき、境地区の住民で組織した境づくり計画策定委員会を中心に話し合っまとめた境地区のための計画です。
- 境づくり計画は10年間に及ぶ計画になります。

(2) 計画の実行

- 境づくり計画の行動計画を活用し、実行に移していくときには、行動計画に掲載された「だれが」、「いつ」、「何をする」に基づき、具体的な取組を考えます。
- 動く人、準備段階を含めた動く時期、動く内容、そして全体の流れを想像することで、実際に起こることや行うことをイメージしていきます。
- 計画を立てた後は、実際に行動を開始します。

(3) 行動の振り返り

- 継続性のある計画であるために、毎年みんなで行動を確認します。
- 各項目がうまく進んでいるかどうか、進んでいなければどうすれば良いかを話し合います。
- 境づくりの大目標である「熱く語れ 大きく動け 人がふれあう 境浜魂」に立ちかえり、目標を共有しましょう。
- 新たな課題が発生したときは、境地区公民館の組織決定を経て修正し、計画書の見直しにつなげます。
- 見直した内容や行動計画の追加など、確認した結果を市に報告します。



資料 1

(1) 境づくり計画策定委員会規程

(設置)

第1条 第4次垂水市総合計画基本構想に基づき、境地区における地域振興計画を策定するため、境づくり計画策定委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 委員会は、境づくり計画策定のための企画、調整及び素案・原案策定に関することについて処理する。

(組織)

第3条 委員会は委員長、副委員長並びに議長、副議長及び委員をもって組織する。

- 2 委員長は地区公民館長を、副委員長は公民館主事をもって充てる。
- 3 議長及び副議長は、委員の中から選出する。
- 4 委員は、境地区公民館の運営委員、境地区地域担当職員及びその他委員長が特に選任する者をもって充てる。
- 5 委員は、境地区公民館長が委嘱するものとする。

(委員長等の職務)

第4条 委員長は、委員会を代表し調整役として委員会を総理する。

- 2 副委員長は、委員長に事故あるとき又は欠けたときに、その職務を代理する。
- 3 議長は、会議の議長として会議を掌理する。
- 4 副議長は、議長に事故あるとき又は欠けたときに、その職務を代理する。

(委員会の招集等)

第5条 委員会は、委員長が必要に応じ招集する。

- 2 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させて意見を聴くことができる。

(事務局)

第6条 委員会の事務局は、境地区公民館に置く。

(委任)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この規程は、平成26年5月29日から施行する。

(2) 境づくり計画策定委員会名簿

	委員名	委員会職名	各種団体等役職名
1	濱田 龍三	委員長	館長
2	有村 ヒロミ	副委員長	主事
3	田村 眞一	議長	漁業 牛根漁業協同組合長
4	濱添 護	副議長	総務委員 公民館運営委員長
5	隈元 克良	委員	総務委員 川下振興会長
6	森 喜久夫	委員	総務委員 下芦戸振興会長
7	森 譲治	委員	総務委員 上芦戸振興会長
8	川筋 喜太郎	委員	総務委員 田村振興会長
9	大園 勲	委員	総務委員 大園振興会長
10	宮原 富美雄	委員	総務委員 中園振興会長
11	中村 八重子	委員	総務委員 中村振興会長
12	上津 時則	委員	総務委員 上園振興会長 境老人クラブ会長
13	浜田 秀隆	委員	総務委員 境消防団分団長
14	岩田 光弘	委員	総務委員 消防後援会長
15	徳留 邦治	委員	総務委員 市議会議員
16	森 隆志	委員	総務委員 境小 PTA 会長
17	宮原 善広	委員	総務委員 境校区子ども会育成会長
18	河野 英明	委員	総務委員 境小学校長
19	大倉野 博恵	委員	境小学校教頭
20	森 早也子	委員	民生委員
21	森 緑	委員	民生委員
22	浜田 としえ	委員	民生委員
23	宮原 安己	委員	境消防団副分団長
24	山下 敬子	委員	境老人クラブ会計
25	川添 堅一	委員	老神神社総代
26	上ノ園 涼	委員	氏子代表
27	笹平 利浩	委員	漁業代表
28	久永 高広	委員	漁業代表
29	隈元 護	委員	商業代表

30	松尾 高史	委員	商業代表
31	森 澄子	委員	婦人部長 上芦戸振興会
32	田村 まり子	委員	婦人部長 田村振興会
33	浜田 正人	委員	きばろう会会長
34	森 秀和	委員	地域担当職員
35	新屋 光浩	委員	地域担当職員
36	今平 美沙	委員	地域担当職員

(3) 策定経過

日付	名称	人数	内容
H26. 3. 26	まちづくり検討会	25名	・鹿児島大学小栗准教授よりまちづくりの講演 ・先行の松ヶ崎地区より助言
H26. 4. 23	境地区公民館総会	31名	・計画策定を組織的に了承
H26. 5. 29	第1回策定委員会	31名	・規程とアンケート実施の承認 ・計画策定の取組開始 ・まちづくりの意見交換
H26. 6. 26	第2回策定委員会	32名	・アンケート集計結果報告 ・まちづくりの意見交換
H26. 7. 7	第3回策定委員会	22名	・大目標の決定 ・まちづくりの意見交換
H26. 7. 26	第4回策定委員会	21名	・東串良町のNPO法人「豊栄ひつとべ会」へ研修視察
H26. 8. 25	第5回策定委員会	22名	・研修視察の報告 ・行動計画づくり
H26. 9. 4	第6回策定委員会	19名	・行動計画づくり ・市へ協力を求める項目の整理
H26. 9. 30	第7回策定委員会	43名	・市関係課長と要望事項の意見交換
H26. 11. 6	第8回策定委員会	33名	・計画書の仕上げ作業 ・計画書原案の承認と決定
H26. 12.	報告会(鹿児島大学公開講座)	名	・計画書完成報告

(4) 境づくりの様子

大勢の委員がこれからの境について熱く語り合いました。



提案された意見やアンケート結果を集約して計画をつくりました。



鹿大の小栗先生を招いてまちづくりの講演も行われました。



東串良町の豊栄ひっとべ会に先進地視察を行いました。

(5) アンケートの実施と結果

1 アンケートの概要

行動計画を策定するにあたり、境地区住民の声を境づくり計画に生かし、より多くの意見を募るためにアンケート調査を行いました。

このアンケートの中では、境地区の調書や課題、今後取り組んでいきたいことなどを調査しています。

各設問で調査した内容は次のとおりです。

- 【設問1】回答者の年齢、性別
- 【設問2】境地区の生活に満足しているか
- 【設問3】取り組みたい分野
- 【設問4】これからやってみたいこと
- 【設問5】境づくりに関する意見、アイデアなど

2 アンケートの集計結果

実施期間：平成26年5月～6月

総依頼数：367

回答数：194

回答率：52.9%

「境づくり計画」アンケート

＜アンケートの目的＞

境づくり計画は、「よりよい境地区を、境地区に住むみなさんでつくりたい」という計画です。

そこで、境地区に住むみなさんが思っている、境地区の長所や課題、「こうすれば境地区はもっと良くなる」等のご意見を教えてください。

具体的な行動計画を上げるための、貴重な意見として活用することを目的としたアンケートです。

アンケートは無償であります。ご協力をお願いします。

【設問1】回答された方についてお尋ねします。

年 齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
性 別	男性		女性					

当てはまる項目に○印をつけてください。

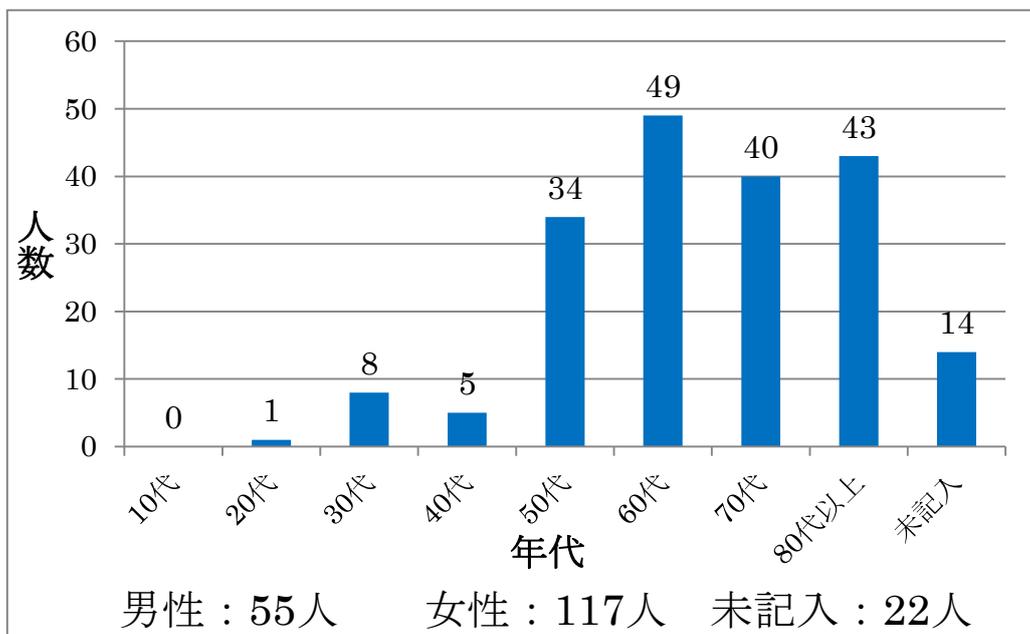
【設問2】境地区の生活に満足していますか？当てはまる項目に○印をつけてください。

1 満足している

2 満足していない

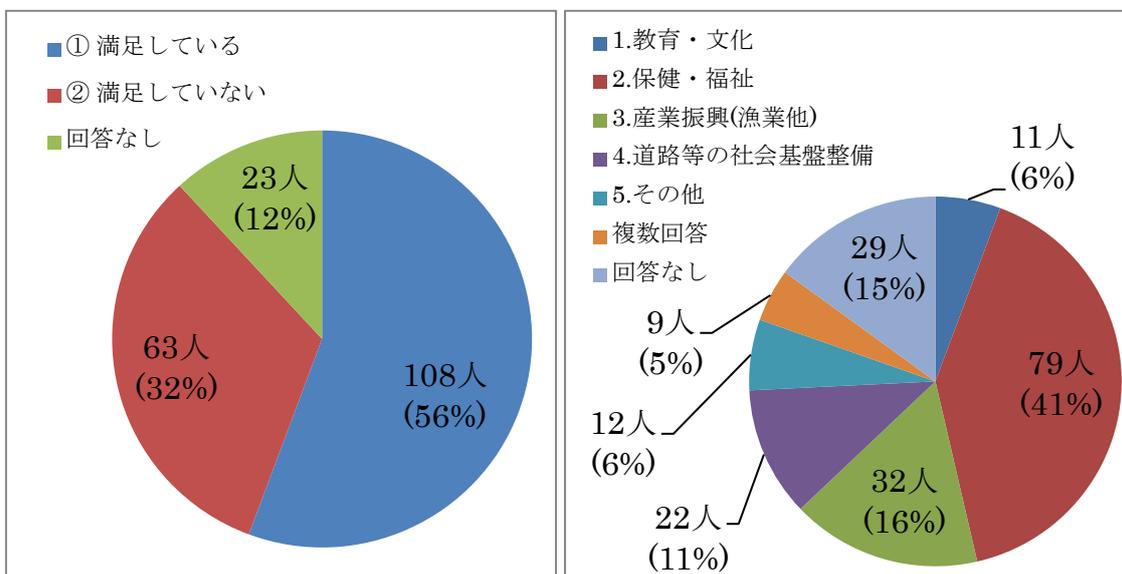
▲アンケート様式

【設問1】回答者の年齢、性別



【設問 2】境地区の生活に満足しているか

【設問 3】取り組みたい分野（選択式）



【設問 3】取り組みたい分野（その他）

番号	その他の回答
1	住みやすい環境。
2	若者や子育て世代が参加できる行事・活動の計画。
3	人口の減少、高齢者の増加、新しく取り組む課題の増加が危惧されるのでは？
4	ゴミ捨て場をもっと皆で気を付ける。
5	交通が不便で店舗が少ない。
6	交通の便が悪い。
7	一人暮らしの老人たちのこと。
8	コンビニ。

【設問 4】これからやってみたいこと

※設問 4・5 の回答について、以下の 4 種類に分類し表示しています。

① 住環境、②人とのつながり、③地域資源、④その他

番号	①住環境
1	境は垂水の一番地で過疎が進み、おまけにバスの便が悪く困っております。産業でも有るともっと良いのではと思います。

2	雑草が多くゴミ袋の開発をしてほしいです（コストが安く丈夫な物。文字はあまりいらなと思う。）。
3	道路整備ついでに田村商店の前に信号機がつくものと思っていました。この間他のおばさんと後先に国道歩道を二人渡っていて、おばさんが渡るときは前の車は止まりました。二人目の子どもときは後ろから来た車に轢かれそうだったと目撃者に言われてびっくりしかたです。
4	220号線港側歩道が出来て大変嬉しく思っております。その反面、車のスピードが加速され、スーパーへ買い物に行くのに国道を横断出来ず困ります。 場所は田村商店前の十字路です。年寄りには危ないので、ぜひ信号機を設置してほしいです。
5	昔と違って今はテレビの時代です。高齢者の方は朝から晩テレビばかり見て足の筋肉が落ちて歩けない引きこもりの人が多いので、福祉で貯筋体操とか軽い運動をさせてあげたいと思います。ゴミの出し方も困ってる方がおられます。
6	垂水・鹿屋へ行くときいつも通過するだけのまちというイメージ。立ち寄れる公園やトイレなどの施設等を小さくても設置して、それからプチ道の駅・海の駅を考えていけばと思う。
7	狭い境だから空き家をなくし、空き地の整備、鉄道跡地公園整備などをして、この地から見える桜島を、車を止め眺めたくなるきれいな境が見たい。
8	魚釣りが出来る環境を整えたらどうでしょうか？子どもたちがとても喜ぶと思います。
9	老人がいつまでも元気でいられることをしてほしい。
10	海岸の方の整備。
11	保健福祉。
番号	②人とのつながり
1	・境の特色とは？まずそれを考えてみましたが…。養殖、ビワ…他は？（道の駅までも遠い）　ブリ・ハマチの調理法・調理して提供する場所を作る。 ・空き家が多いので、それをどうかして集いの場所をあちこちに。歩いていける範囲で。
2	漁業・商業・農業・特色を活かして月に一回でも皆出し合って青空市のような店を出して皆が集まる場所があれば良いと思います。
3	海山ありと、のどかな地域で高齢者の方が多く、日々の暮らしものんびりと過ごしやすい所だと思います。でも、高齢者の方が自宅にいる時間が多

	いのでは。それで、少しでもたくさんの人とお話ししたり、趣味を活かせる場所を作ってほしいです。
4	グランドゴルフや敬老会の方々の活動等とても良くなされていると思います。
5	高齢化で、皆で話し合う場所があったらいいと思います。
6	公園を利用して、年寄りが多いので月に1回とかお茶飲みの会とか話し合いの場が出来たらいいと思います。
7	グランドゴルフは年に2回大会がありますが、賞がなくてもいいですので、回数を増やしてほしいです。
8	境一周駅伝大会とか、海を身近に感じる釣り大会、アサリを放流してアサリ掘り、カヤックを利用した沖小島までの競争、境合同（子ども、父兄を含む）綱引き大会（部落別）。
9	福祉、奉仕作業に参加したい。
10	年寄りの集会所。
11	グランドゴルフをします。
12	境地区の人たちは他の地区と比べるといろいろな行事に数多くの人たちが参加してくださいます。老人会の出会も多く皆さんとても元気です。今はやってみたいことは思い浮かびませんが・・・。
13	グランドゴルフを続けて行ってほしい。
14	私は花やハーブを作ったりすることが好きなので、ヨーロッパ調の環境づくりをしてみたい。 境で栽培した物をフリーマーケット的に販売。
15	お年寄りが多いので、自分も何か相談に乗って少しでも役に立ちたいと思う。
16	グランドゴルフの専用場所を作ってほしいです。各校区グランドゴルフ場がないのは垂水だけです。
番号	③地域資源
1	漁業・農業を活かし、活用出来る行事。
2	棒おどりや、六月灯など郷土芸能は続けた方が良くと思います。
3	1) 私達のような高齢者が年々増えていく中で、逆に若い人が減少しているのが実状です。境の海岸を活かした人口の砂浜を築き、若者や家族連れの方々が気軽に立ち寄れるように、砂浜を魚・貝類の住める環境に構築し

	て、海岸からの魚釣りや砂浜でのアサリ等の貝掘りなどで、家族で楽しめるような企画を今後皆で考え実現出来るように提案します。 2) 境川の活用。川の下流から上流に至る各段の堰の一部に魚道を築き、アユやウナギ等が上流まで遡上出来るように川の環境整備を企画実現出来るように提案します。
4	漁業の近代化。
5	境に昔からある行事を大事にしていきたいです。
6	境の地形・森伊蔵・港の釣り人の多さを利用して海・山道・トンネルを使った遊歩道を作り、ウォーキング等が出来やすくすればどうですか？山の方に行くと景色も良いですし。
7	境の歴史の編纂をまとめられたらと思います。
8	鉄道公園の桜を利用した行事（人が集まりやすい行事）。若者等が参加できる（しようと思う）夏祭りの工夫。イベントの計画。若い世代の参加による地域の活性化。
9	これまで行われてきた伝統、地区棒踊りの継承。
10	鉄道公園。
11	棒踊り等の伝統的な祭りを一層盛んになるように努力したい。
12	桜の時期、鉄道公園跡地がきれいなので公園が憩いの場所として、景色も良い所なので大事にしたいです。
13	境は漁業の村だけど、取ることよりも育てることも大事だと思う。
14	漁業1本釣りでタイ、アジを釣りたい。
15	桜並木だけでなく、四季の花が見られると楽しみです。
16	B-1 グランプリへの参加（ブリ・カンパチなどを使った料理）。
17	漁業近代化。
番号	④その他
1	特に自分には無いです。一言、今の年になると夢も希望も無くなり一日一日を大事に生きることだけを心掛けて楽しい人生を終わりたい。
2	何をやるにも老人ばかりで、活気が出そうにない。
3	何が特別なことでしょうか？

【設問5】 境づくりに関する意見、アイデアなど

番号	①住環境
1	これから年を取るのでスーパーがほしいです。
2	境に店が少ないので、コンビニのような店があればと思います。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・病院等に行く乗り物の回数を増やす。 ・高齢者が多いため運転も出来なくなり、同居者も少なく数少ないバスを待つ人をよく見かける。市内に病院へ行くのも1日使う。 ・買い物する場所も少ない。 ・公園などお茶を飲んだりとかみんながゆっくり語り合ういやしの場所を作ってほしい。(集いの場) ・散歩道路にあかりを!! (トンネルの出口付近とか) (鉄道跡地) 夕方でも暗い。危険。
4	とにかく若い人がいません。地域発展のためにも若い人々の力が大事です。働く職場が有ると住みなれた場所から出て行きません。どうか良い職場を作ってほしい!
5	皆が元気になり、楽しむものがあれば良いと思います。
6	梅雨時の災害対策の充実。鉄道跡地の桜の木の観光。
7	<p>お墓の水道の件ですが、以前、納骨堂を建てると同時にその近くに皆さんがそれぞれ個人で水道をつけていますところが、境水道がなくなり、市の管理になったとたんに市から新しい水道が各所につけられたのはいいのですが、その個人でつけたものをふさがれたのは、どんな意味があるのでしょうか?</p> <p>墓参りに毎日行かれるのはほとんどご高齢です。水を使う量はほぼ一緒なのに、本当に不親切で、何のためにされたかわかりません。重い水を下げる毎日を考えてみて下さい。すぐに使えるようにすべきです。</p>
8	<p>年寄りの動く場所を少し作ってもらいたい。花の苗とか身近な野菜の苗など?</p> <p>市からの放送が聞きづらいです。以上。</p> <p>国や行政に迷惑を掛けないよう元気に過ごしたいと思います。</p>
9	国道が車の通行が多くてなかなか渡れないので、田村市子商店の所に信号機を設置してはどうでしょうか。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少しお店を増やしてほしい。 ・田村商店の前に信号機をつけてほしい。(子どもが渡るとき、お年寄りが渡るとき危険。)

	・道路を広げたがその分車のスピードが速く危険。
11	店が少ないので、大きなスーパーがあったらいいと思います。国分の方まで足を運ばなくて済みますので。
12	国道 220 号が広く大変きれいになりました。でも、田村精肉店の前は土・日曜日など交通が多く、皆スピードを出して走るの、一向に道を渡れません。ボタン式の信号機でも良いですので、つけてほしいところです。
13	国道 220 号が道が広がり大変きれいになりましたが、田村精肉店の入口は土曜日曜日など車が大変多くスピードを出して走っているの、一向に人は安心して渡ることが出来ません。なんとかボタン式の信号機でも作ってほしいと思います。宜しくお願い致します。
14	境から他の町へ流出するのを防ぐ。これが一番だと思う。(境の人口が減りすぎてびっくりです。)
15	共同墓地があればいいと思う。
16	境に住みながら国分に買い物に行きます。境は店が少なくて 1 人暮らしの人は大変です。 市から週に 1 回でも良いですから買物バスを出してもらいたいです。1 人暮らしの人たちはほとんどの方が同じことを思っておられます。
17	・雨の季節に入り、災害が起きない方がいいのですが、もしものときの避難計画の再確認。特に歩行に難のある老人などの手助けや昼間は仕事で留守にする人も多いので、残された老人などの対応。 ・境川の草刈りは年に 1～2 回やっていますが、上流から土や石が堆積しているの、除去した方がいいのではないかと思います。
18	若い人が住める地域づくり・まちづくり
19	霧島市へ約 25 分、垂水へ約 30 分の車で通勤出来る距離にある境。自然災害、特に大雨で通行止めになる環境を考えると、道路と付随する基盤を整備して、若い家庭が住みやすい住宅や再生住宅などを考慮して市街地のベッドタウン化を考える。
20	道路が整備されてきれいになりましたが、田村商店前から海寄りの方に渡ろうとするとき、少しカーブになっていて道の駅に通じる道で、土曜・日曜など車が多くなるとき、スピードを出している車があり、渡るのに難しいときがあります。年寄りの多い所ですので、押しボタン式の信号機の設置はないのでしょうか。
21	田村商店前の所に信号機をお願いいたします。
22	空き家が多いので人が集まる村に何とかならないものではないのでしょうか。

23	境の現状は国道に歩道が設置完成されています。道路が広くなり、見通しが良くなっております。よって、交通車両のスピードが速くなり事故の心配も懸念されます。よって、横断歩道に交通安全のノボリを各集落 10 本当たり 60 本を設置して、交通安全の意識の高揚をはかりたいと思います。境づくりまちづくりの計画にもつながります。
24	境地区は店舗が少なく、買物難民者が多く居て不便なので、そちらの方にもう少し力を入れてほしいなと考えております。
25	境地区に空き家が多いのが気になる。垂水市の方で空き家に入る人を見つけしてほしい。
26	道路歩道が狭いので、できることなら境港入口に信号機がほしいものです。ゴミ出しなどとても危ないです。
番号	②人とのつながり
1	現在境公民館で行っている行事、十五夜（綱引き・相撲取り）、もちつき大会、二月祭り等、境の方々全員が参加して行事を盛り上げるやり方。
2	昔は、子ども達の本の読む声がスピーカーから聞こえていたような気がします。 近年高齢化していますので、お年寄りの話等希望者の声を「録音」・「本読み」等聞いてみたいと思います。
3	小さい場所で何か所かに軽い運動（腕・足・腰）などを、少し話をしながら出来る場所がほしいです。イスに座って運動などの簡単な場所がほしいです。元気な人はいいけど、あったらいいなあと思っています。公園みたいなブランコなどと一緒にあるようなものです。
4	現在境地区では年 2 回グランドゴルフ大会があり、普段会わない人達とも会えて話もはずみ楽しい一日でした。賞品なんかなしで、大会の回数を増やしてほしいものです。
5	今年に 2 回位グランドゴルフ大会が行われていて大変いいことです。このグランドは賞品はなくてもいいと思います。もっと回数を増やしてほしいと思います。
6	高齢者と児童とのふれあいの場をもちたいです。
7	桜公園をメインとした老若男女を問わず利用出来る広い意味での競技をいくつか決めて、部落ごとの利用も沢山広めていけるようだったら、小さい輪が大きな和、小さい和が大きな輪になっていけるよう地区民が元気を出して、その中からまたヒントも出てくるのではないのでしょうか。 空き家を利用したカフェ、パン屋、ピザ屋、フレンチの店等々、若い人たちの活躍の場も兼ね合わせた再生が必要なのでは！

8	高齢者と子どもたち（特に境小の児童）のふれあい、勉強の場、機会をもっと増やせないでしょうか。
9	今現在の老人クラブの継承（グランドゴルフなど）。
10	老若男女集い語り合える機会が増えればと思います。例えばグランドゴルフ等手軽に楽しめるスポーツ等。
11	習い事をする場所がないので、どなたか書道や空手などなんでもいいので子どもたちに教えていただけたらありがたいです。 高齢者の方で時間がある方が夕方1時間でも子どもたちとふれあいながら得意なことを教えていただけたら親も安心します。
12	各集落の一人暮らしの老人への声かけをもっと多くする。ご近所の一人暮らしが多くなっているの、一人でも淋しくないように出来る限り話し合う時間を増やす。
13	老人会で食事会をしたりしてますが、その食事会を各部落で順番で回って、歩けない人や行事などあまり参加できない人を近くに集めてお茶を飲んだり話（昔の話）をしたりしてはどうでしょうか。元気で歩ける（どこでもいける）人はいいですが。
14	部落でも足の不自由な方が多く、グランドゴルフなんかしたくても行けない、人には迷惑を掛けたくないと家の周りを杖をついて近所の人、限られた人と話をするだけです。二月祭りの棒踊りは近くまで来てくれるので楽しみにしています。そういう人たちのためにもっと何かあればいいのですが。
15	地域の人が人を見守るまち。 あいさつ。声を出しかけ合うだけで気持ちまで触れ合ったように元気が出るのでは。 良くお年寄りがブロックの上に数人腰掛け話している姿、世話をしている姿をみかけます。ところどころに長椅子（休憩所）があれば散歩の途中の休憩、長歩きできない人の休憩、そこで出会った人が声をかけ合い会話の花が咲き、体も気持ちも元気が出るのでは。家の中に閉じ込むことも少なくなるのではと思います。
16	高齢者が閉じこもりにならないように何かいい考えがあればいいのですが。
17	老人、一人暮らしが多いので週に一回でも皆に呼び掛け、語らいの場を設けたらどうでしょう？
18	ご年配の方々の憩いの場所（話し相手）をつくってほしい。

番号	③地域資源
1	地域の特性を生かしたイベントを作る。交流人口を増やすことも活性化につながると思うが…。
2	境の地形・森伊蔵・港の釣り人の多さを利用して海・山道・トンネルを使った遊歩道を作り、ウォーキング等が出来やすくすればどうですか？山の方に行くと景色も良いですし。 境は中央から離れているのでなおざりにされている気がします。もっと地方にも目を向けてください。
3	境は大好き。桜公園をゆっくり散歩しています。年に1回の夏まつりが一番の楽しみです。
4	・上下水道も完備しているので、若者が住んでも良いと思えるような家・土地（駐車場付）を確保して、小学校がにぎやかになればよいと思う。 ・通行車両が寄り道をしたくなるような何かがあれば。鉄道記念公園を春は桜で、夏はホテルで、秋は～で、冬は～でと何かないか。
5	鉄道公園を境にして。
6	山を開墾して昔のようにカライモが出来ないものかと考えます。
7	・せっかく鉄道跡に桜並木があるのですが、一年を通して春は桜、夏はひまわり、etc…四季を通して何か利用できないか。 ・空き家を利用し、ランチが出来る店があればいいなー（境にもりやすラーメンが1店しかないため）。
8	鉄道公園の桜の木の管理は一部の人たちで行っていましたから、これからは境づくりのためみんなで整備管理して、垂水の桜の名所にすべきです。
番号	④その他
1	1) 今回の境づくり計画のアンケートは、私達にはとても良い企画提案ですので、是非ともこのアンケートの結果、内容を皆さんに返信して頂き、今後皆さんが関心を持てるようにして頂きたいです。 2) 今後のアンケート等に対しまして、海岸に近いお住いの方と山手のお住いの方、川沿いの方など各振興会員で違いが有りますので、振興会毎の記名までお願いして頂き、その内容が今後の参考になればと思いますので、誠に身勝手な提案で申し訳ありませんでした。
2	麓、牛根、境、それぞれの議員さんたちが率先して頑張っていたいただきたいです。
3	映画。小・中・高生に映画の楽しさを。

資料 2

(1) 境地区の主な行事

1月

- ・ 祈願祭
- ・ 鬼火焚き
- ・ 消防出初め式



2月

- ・ 県下一周駅伝
- ・ 在宅高齢者グラウンドゴルフ大会

3月

- ・ 老神神社二月祭り
- ・ 交通安全教室



4月

- ・ 小中学校入学式
- ・ 春の交通安全立哨

5月

- ・ 境地区グラウンドゴルフ大会



7月

- 六月灯
- 夏の交通安全立哨



8月

- 3校区親子球技大会合同会



9月

- 境小校区合同運動会
- 十五夜
- 秋の交通安全立哨

10月

- 敬老祝賀会
- 牛根っ子探検隊



11月

- 境地区グラウンドゴルフ大会

12月

- ふれあい餅つき大会
- 冬の交通安全立哨
- しめ縄、門松づくり
- 老神神社大祓、新年祈願祭



(2) 境地区掲載記事

第25952号 2014年(平成26年)4月3日 木曜日

地域で育ち

「いやっさー、えいせい」
3月2日、鹿児島県を旅行
垂水市牛根境地区に、子ども
たちの勇壮なかけ声が響い
た。地域の無病息災と五穀
豊穡を願う「二月祭り」の
奉納棒踊り。境小学校の1年
生から6年生まで約20人が、
白鉢巻きに五色のたすきを舞
ませ踊る。六尺棒と鎌、三尺
棒の3列になって、前後で入
れ替わって切り合った。守り
たり、大きく動く。
保護者や教職員、中学生も
加わる。総勢40人地区を守
る老神神社に奉納した後、二
手に分かれて集落の家々へ向
かっていた。
海沿いの集落で、近所の住
民に「棒に子どもたち多量に
出た村券子さん(注)は」「昔か
ら続く行事。これがない春
が来はし、何より子ど
ちを盛りと元気な」と目
を細めた。
「三尺棒と鎌、三尺棒の
列列揃っているのは県内も
珍しいのではないが、青田
の守りつとった動きの評
判、他の地区から招かれる
ことも多かった」。老神神
社祭りの岩田幸治(注)は
手に分かれて集落の家々へ向

夏の風物詩・六月灯 牛根境地区・老神神社でも盛大に。

鹿児島島の夏の風物詩・六月灯。垂水市内でも各地で開催されました。六月灯は旧暦六月（現在は主に新暦七月）に県内の神社や寺院で開催される夏祭りで、その由来は島津19代藩主光久が上山寺新照院の観音堂を造立して参詣した際、たくさんの燈ろうをつけさせたので、だん家でもこれにならって燈ろうを寄進したのが始まりといわれています。7月28日（日）は、牛根境地区の老神神社で地域住民による手作りの六月灯が開催され、有村ヒロミ主宰による軽妙な司会進行とともに、歌や踊りで会場は大変盛り上がり、笑顔あふれる思い出深い六月灯になりました。



広報たるみず
平成25年9月号

郷土芸能

そんな自慢の祭りは1960年代、青年団員の減少で一度途絶えた。
「子どもたちに故郷の思い出として棒踊りを伝えたい」と、踊った経験のある住民や子ども育成会から声が上がった。約30年前、境小の子どもたちが復活させた。校区と自治会の学校運動会でも披露する。指導するのは、青年団経験者や地元の活性化団体「まはる」のメンバーら地域住民だ。4月から中学生の川筋貴帆(注)は「踊りながら、貴帆(注)は「踊りながら、なく、地域の人の話を歴史を教へてもらえるのも楽しい。これからは、これからは、加わって」と話す。



集落を回って棒踊りを披露する境小児童ら
＝3月2日、垂水市牛根境

けの参加だったが、今では10代の子どもも参加している。牛根境地区の人口は769人。境小の児童数も棒踊り人、高齢化率は44.2%と、復活当時の6分の1にまで下がってきた。終わりを告げる口士を購れやかに響かせる。牛根境地区の人口は769人。境小の児童数も棒踊り人、高齢化率は44.2%と、復活当時の6分の1にまで下がってきた。終わりを告げる口士を購れやかに響かせる。

故郷の記憶、体に刻んで

「子ども」すなわち、指導した地区住民の参加だったが、今では10代の子どもも参加している。牛根境地区の人口は769人。境小の児童数も棒踊り人、高齢化率は44.2%と、復活当時の6分の1にまで下がってきた。終わりを告げる口士を購れやかに響かせる。

子どもの居場所 第5部
連載への意見や感想を400～800字以内にまとめ、「子どもの居場所」取材班にお寄せください。郵送＝〒890-8603（住所不要）
▽ファックス＝099(256)1630▽メール＝child@37news.com

復興にイチゴ役立てて

垂水・境小 宮城へ贈る苗育成

垂水市の境小学校の1～4年生15人が、学校で育てているイチゴの苗を、東日本大震災で被災した宮城県角田市の東根小学校にプレゼントする準備を進めている。19日には、土作りやプランターへの苗植えて汗を流した。境小では2年前から学校菜園でイチゴを栽培しており、7月からイチゴを使った被災地の復興支援を検討。今回、産地でもある角田市が津波の被害で生産がままならない状況を知り、苗を贈ることを決めた。



12月に贈るイチゴの苗を植える児童
＝垂水市の境小学校

平成26年4月3日
南日本新聞

平成23年10月25日
南日本新聞

ふらふらと歩くと、花びらが舞い降りてくる。春の訪れを告げるように、ふらふらと歩くと、花びらが舞い降りてくる。春の訪れを告げるように、ふらふらと歩くと、花びらが舞い降りてくる。



4/13 南日本新聞
かごしま 彩録
垂水市牛根境



春の訪れを告げるように、ふらふらと歩くと、花びらが舞い降りてくる。春の訪れを告げるように、ふらふらと歩くと、花びらが舞い降りてくる。

廃線しのお桜トンネル

□47□



鹿島郡に在りて出た山に於ては、本
が平野に垂水市牛根境(国交省の
号から山手へ掘り進み、地元の
たこの公園、牛根境記念公園
がある。18年前、旧国鉄大園線・大園
線跡の跡地を市が買い、市民たちが
の地に「しのお桜」を植えて、夜更
がたに大々開花、目撃の花見スポット
となっている。

1977年の開業から15年ほどで
酒太大園線。大園線は徳島県下で
唯一の単線、ホムととも志毛風
の小さな停留所がある(この無人駅
は、80年9月の時刻表で、1
日1往復のみ停車。高田さん(故人)
からは、線路に走る踏切が記された
ぬ、朝には走り込んでくる踏切を待
って通っていた。

開業後は国鉄のバスに利用する
計画もあったが、「もとより工費が
多額で、バスは通らず、千
ての年々増える車も増え、千
と高田さん(83)は、91年
が中心になって、約100本の跡地に
ソメイヨシノ、約100本を植えた。

当時の株主、鹿島郡長と市長の
手厚い世話を焼いた。鹿島郡長と
市長は、約100本の跡地に、ソ
メイヨシノ、約100本を植えた。
は、ソメイヨシノ、約100本を
植えた。ソメイヨシノ、約100
本を植えた。ソメイヨシノ、約
100本を植えた。ソメイヨシノ、
約100本を植えた。ソメイヨシ
ノ、約100本を植えた。ソメイ
ヨシノ、約100本を植えた。ソ
メイヨシノ、約100本を植えた。



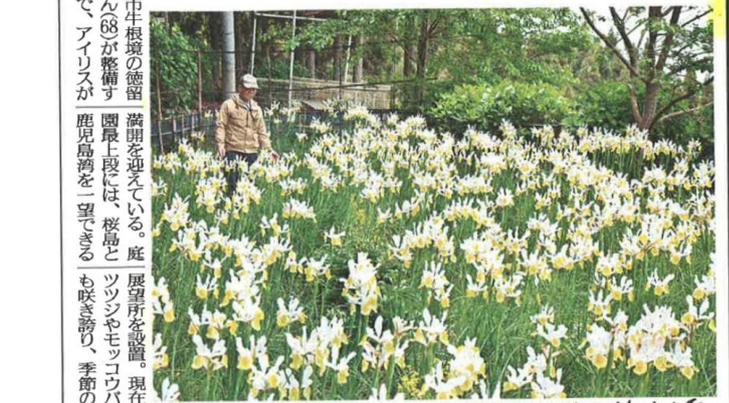
夜更けに大々開花、目撃の花見スポットとなっている。

鹿島郡長と市長の
手厚い世話を焼いた。鹿島郡長と
市長は、約100本の跡地に、ソ
メイヨシノ、約100本を植えた。
は、ソメイヨシノ、約100本を
植えた。ソメイヨシノ、約100
本を植えた。ソメイヨシノ、約
100本を植えた。ソメイヨシノ、
約100本を植えた。ソメイヨシ
ノ、約100本を植えた。ソメイ
ヨシノ、約100本を植えた。ソ
メイヨシノ、約100本を植えた。

鹿島郡長と市長の
手厚い世話を焼いた。鹿島郡長と
市長は、約100本の跡地に、ソ
メイヨシノ、約100本を植えた。
は、ソメイヨシノ、約100本を
植えた。ソメイヨシノ、約100
本を植えた。ソメイヨシノ、約
100本を植えた。ソメイヨシノ、
約100本を植えた。ソメイヨシ
ノ、約100本を植えた。ソメイ
ヨシノ、約100本を植えた。ソ
メイヨシノ、約100本を植えた。

平成24年4月2日
南日本新聞

季節の便り アイリス満開 垂水・徳留さん庭園



垂水市牛根境の徳留
成章さん(68)が整備す
る庭園で、アイリスが
満開を迎えている。庭
園最上段には、桜と
鹿島島鷗を一望でき
る。展示所を設け、現
在はツツシヤモッコウ
バラも咲き誇り、季節
の花

満開を迎えたアイリス＝垂水市牛根境

4/21 南日本新聞
々が楽しめる。
先相代々受け継いだ
山林を切り開き、15年
ほど前に造園を始め
た。アイリスは1鉢か
ら数千本にまで増やし
たという。「季節ごと
に花を愛してみたい」
と、花を愛してみたい。
約千平方メートルの
庭園には、スイセン
やサクラ、シヤクソ、
ヒマワリ、ヒガンバナ
なども植えた。「把握
しきれない」種類の草
花を、一年中観賞でき
る。
徳留さんは「挿し木
で増やした千本のアジ
サイが6月には見頃
になる。桜と一緒
に眺めれば、時
間が止まったか
のように感じられ
る」と話した。徳留
さん(090)5298
4826。(山下智弘)

平成24年4月21日
南日本新聞

(3) 境地区の棒踊り

棒踊りは、関ヶ原の合戦に敗れた島津義弘が、意気消沈した郷土の士気を鼓舞するため、武芸の技を踊りに加えたものと伝えられています。江戸時代になり、元禄を過ぎると、世の中は平和になり、棒踊りも武士の踊りから農民の田植踊りへと変化し、国分隼人の鹿児島神宮のお田植え祭りに奉納されるようになり、広く県下で踊られるようになったとのこと。

牛根地区では、境・二川・岳野・上ノ原・麓地区の5地区で棒踊りが踊られていました。いつ頃から踊られていたのかははっきりしていませんが、平成24年に文化会館で実施された第32回垂水市地区公民館経営研究会での境棒踊りの発表によると、土地の古老が「百年以上前に百引から伝わった」と話していることから、境地区以外のものも同じような頃伝わったものと考えられます。発表された棒踊りには、士気を鼓舞するという側面のほかに、百姓一揆の隠れ武術としての側面も持つとのことでした。百姓町民はいつも戦いの犠牲となり、武器を持つことが許されなかったため、木製の薙刀(六尺棒)や木刀(三尺棒)・鎌等で自衛するよりほかになく、それらを用いた防御・攻撃術が踊り化されたものという側面もあるということです。

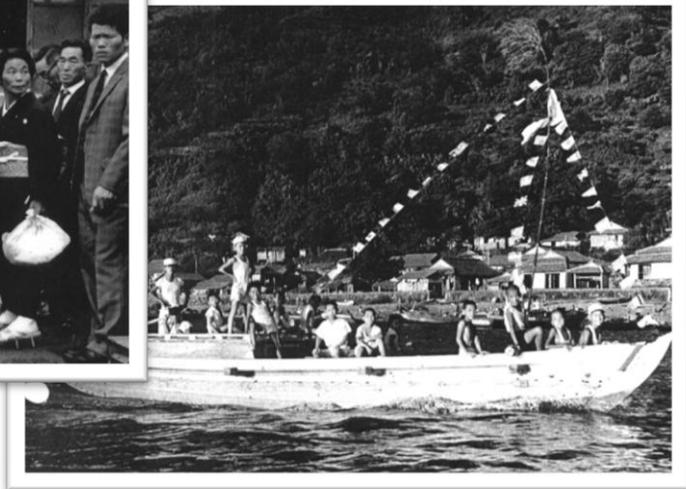
垂水市史によると、棒踊りの奉納は、旧暦2月の初辰の日が居世神社の二月祭りの日で、申の日が辺田、二川、浮津、境の二月祭りの日です。踊り子の青年は、薙刀代わりの六尺棒や鎌を手にし、白い鉢巻きに赤の下着、脚絆に旅草履ばきという出で立ちで踊ります。

現在では少子高齢化等の理由により後継者が途絶え、岳野、上ノ原、麓の3地区では踊られておらず、境地区と二川地区で踊られているのみです。境地区、二川地区ともに毎年3月(旧暦2月)に、老神神社で2月祭りを奉納するほか、校区・小学校合同運動会等で踊りを披露しています。境地区は、濱田龍三会長を中心に、二川地区は森正勝保存会長を中心に、それぞれ地域の皆さんと小学校、公民館が一丸となって、伝統文化の火を消すまいと尽力されています。

(広報たるみず 平成25年12月号より)



(4) 境地区の昔の写真





▲境地区公民館

あ と が き

平成 26 年度に、垂水市の第 4 次総合計画に沿って、境地区における地域振興計画を実施することになりました。

境は人口も減り続け、空き家も多くなり、このままで良いのかとの危機感がある中、3月に鹿児島大学の小栗先生を迎え、住民の手による境づくりの講習会を開きました。

4月には総会で、境づくり計画策定委員会の立ち上げについて承認をいただき、5月に第1回策定委員会を開き、計画策定を開始しました。委員会では多くの意見が出され、境地区住民を対象としたアンケートも 194 通寄せられました。

境が目指す目標や特色を生かしたキャッチフレーズとして「熱く語れ 大きく動け人がふれあう境浜魂」という言葉も決まりました。

取組を進めていく中で少しずつまちづくりの方法が分かり、熱が入るようになりました。東串良町の豊栄ひっとべ会への研修視察では、「失敗もあるが、くじけずにコツコツ続けることが成功への道」だと助言をいただきました。

市の協力が必要な部分については、市長はじめ関係課長にご意見をいただき、それぞれの行動計画が実施の方向に向いて行くことと思います。

3年、10年先、境を境浜らしさのある住みやすく元気なまちに少しでも変えられることを夢見ています。

策定委員の方々には、多用な中をご参加いただき、熱く語っていただきました。皆様の努力、協力に心よりお礼を申し上げます。

また、市役所職員の皆様の献身的な指導に心よりお礼を申し上げます。

境地区公民館長

境づくり計画策定委員会委員長 濱田 龍三

熱く語れ 大きく動け
人がふれあう さけはま 境浜魂

境づくり計画（初版）

発行年月 平成 26 年 11 月
編集・発行 境地区公民館
境づくり計画策定委員会
〒899-4631
鹿児島県垂水市牛根境 1257 番地 1
☎0994-36-3414
協働制作 垂水市役所関係各課
境地区地域担当職員
企画課地域政策係
